



No.222

令和8年5月1日発行
滑川市議会
☎ (076) 475-2120
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年生 関山 海さんの作品)



保護司3団体との意見交換会を開催しました。
(詳細は13ページをご覧ください)

***** 令和8年3月定例会一覧 *****

<p>○議案の審議結果</p> <p>予算(原案可決) 9件</p> <p>条例(原案可決) 8件</p> <p>人事(原案同意) 1件</p> <p>人事(異議なしと意見) 1件</p> <p>請願(不採扱) 1件</p> <p>合計 20件</p>		<p>○委員会</p> <p>3月2日・19日 議会運営委員会</p> <p>11日・12日・13日 予算特別委員会</p> <p>10日・16日 総務文教消防委員会 産業厚生建設委員会</p> <p>17日 産業厚生建設委員会</p>		<p>○本会議(主な内容)</p> <p>2月27日 会期の決定</p> <p>3月19日 会期21日間</p> <p>2月27日 提案理由説明</p> <p>3月2日 補足説明</p> <p>3月2日 代表質問・一般質問</p> <p>9日 補足説明</p> <p>10日 一般質問</p> <p>10日 議案の委員会付託</p> <p>19日 議案の委員会付託</p> <p>19日 請願の委員会付託</p> <p>19日 委員長報告・質疑・討論・採決</p> <p>追加提案</p> <p>提案理由説明・採決</p> <p>議員派遣</p> <p>閉会中の継続審査</p>	
--	--	--	--	---	--

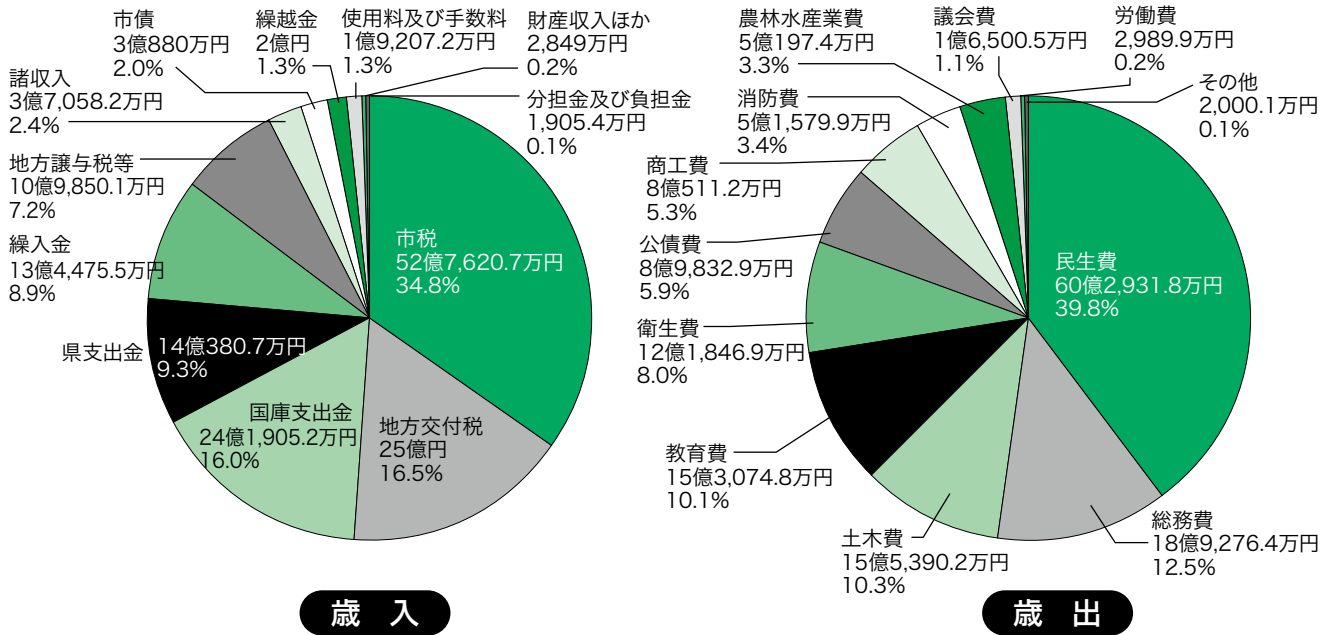
議会を傍聴しませんか。次回の定例会は6月です。



なめりかわ **市議会だより**

令和8年度 滑川市の予算 !!

予算額は、一般会計・特別会計・企業会計を合わせて 264億6,245万円(うち、一般会計151億6,132万円)



予算特別委員会を設置

令和8年度当初予算の審査を行うため、全議員で組織する予算特別委員会を設置しました。

3日間にわたる審査を行った結果、「議案第2号 令和8年度滑川市一般会計予算」から「議案第8号 令和8年度滑川市下水道事業会計予算」までの7議案については、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会で質疑のあった主な事業

○ふるさと納税

ふるさと納税制度は、「ふるさと」を応援したい、「ふるさと」に貢献したいという方々が、応援や貢献したいと思う地方公共団体へ寄附を行った場合、寄附金のうち2千円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税から全額が控除される仕組みです。

問 ふるさと納税は、入ってくる額ばかりが目立って注目がちだが、市民が他の自治体に納税することで発生する流出分も相応の額があるため、赤字になっている自治体もあると思われる。本市の状況は。

答 令和6年度の決算では、ふるさと納税の収入額は約1億9千万円であった。一方、本市から他の自治体にふるさと納税された金

額は約6千300万円である。ふるさと納税の制度では経費率50%というルールがあるため、最大で9千500万円ほどの経費と、先ほどの6千300万円と合わせたとしても、入ってきている金額のほうが差し引きは多くなっている。今年度については歳出額の集計はまだ先になるが、同じような推計にならないかと考えている。

○語学指導外国青年招致事業費 2千337万円

外国語指導助手（ALT）を配置し、児童生徒の英語力の向上を図ります。

問 ALTの負担金が令和8年度は2千337万円と年々上がってきている。ALTの重要性は認識しているが、負担金の上昇や効率的な運用について課題もある。朝日町では教育のDX化が進み、AI学習教材を活用して個々の学習進度に応じた教育が行われている。本市でも子どものDX推進を検討すべき時期にきていると考えるが市の見解は。

答 AIを活用した言語学習は効果的であるが、外国籍の方との直接交流も重要である。コストを考慮しつつ、ALTの存続を検討していきたい。（水野市長）教育のDXという意味で順次進めていきたいと考えており、今の意見も参考に検討したい。

3月定例会

市議会3月定例会は、2月27日から3月19日までの21日の会期で開催しました。審議した案件は、令和8年度一般会計予算をはじめ、条例等の市長提出議案19件と請願1件です。

審議の結果、市長提出議案の19件は原案どおり可決、同意または異議なしと意見することに、請願1件は不採択とすることに決定しました。

本会議

◇2月27日に本会議を開き、まず会期を3月19日までの21日間と決めた後に、令和8年度一般会計予算や令和7年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案17件及び報告2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長等から議案の補足説明がありました。

3月2日は引き続き全体委員会を開き、担当課長等から補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、議員全員で構成する予算特別委員会の設置を決めました。

◇3月9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質

疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会及び予算特別委員会へ、請願第1号を総務文教消防委員会へ付託しました。なお、予算特別委員会の委員長は水橋真治議員、副委員長は安達真隆議員に決まりました。

◇最終日の19日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び予算特別委員長から、それぞれの付託議案及び付託請願の審査結果の報告がありました。

はじめに市長提出議案17件が一括して採決され、賛成全員でしたが、欠席者がいたため賛成多数で可決されました。

次に、請願1件の採決を行い、賛成少数で不採択となりました。

続いて市長から人事案件として、副市長として柿沼昌宏さん(沖田新)の選任、人権擁護委員として寺崎満幸さん(田林)の推選が追加提案され、賛成多数で原案に同意または異議な

しという意見に決定しました。最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を決定して、3月定例会を閉会しました。

総務文教消防委員会

慎重審査の結果、付託された6議案については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「請願第1号」については、3月10日に委員会を開催し、請願者の趣旨説明を行うことを決定しました。16日開催の委員会では、請願者からの趣旨説明及び当局からの見解・意見を聞き、委員間協議を行いました。委員間協議の中では、核の傘というのが日米安保条約にどれだけの有効性があるのか分からない、被爆国である日本が核の傘を容認することに抵抗感があるという意見がありました。米国の核の傘の下にすることが抑止力となっている、きれいなことでは済んでいないことが現実、まずはオプターバーとしての参加を強く求めるべきという意見などがあり、慎重審査の結果、賛成の委員がいなかったため、不採択とすべきものと決定しました。

☆令和7年度滑川市一般会計補正予算(第8号)について

問 SDGs推進事業費のAR体験設備運用について、170万円の予算はどのようなことに使われるのか。

答 ほたるいかミュージアム常設の設備及び体験授業として小学校でARホタルイカを引き続き行っていくためのランニングコストである。

産業厚生建設委員会

現地視察のほか、関係職員から説明を聞き、付託案件に対する審査を行いました。付託された5議案については、慎重審査の結果、賛成全員でしたが、欠席者がいたため、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

☆令和7年度滑川市一般会計補正予算(第8号)について

問 とやま観光推進機構へは各自治体の負担金のほか、国の補助金などを出している。滑川の観光について力を入れてPRしていただき、目に見えるような活動を推進していただきたい。

答 機構のスタッフと話をする機会もあるため、そのような際に話していきたい。

代表・一般質問での質疑応答における当局のやりとりのうち、この部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

第一回臨時会

令和8年第一回市議会臨時会は、会期を2月24日の1日間と決めた後に、富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、水野達夫市長が当選しました。

続いて、議案第1号「地方自治法第179条による専決処分承認を求めることについて」の市長提出議案が上程され、市長から提案理由の説明の後、所管の各常任委員会へ付託しました。その後、本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。採決の結果、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で承認され、第一回臨時会を閉会としました。

日誌

- 8年2月**
- 2日 大規模地震に備えた防災まちづくりの推進に関する特別委員会（東京都）
 - 5日 全国市議会議員共済会代議員会（東京都）
 - 10日 総務文教消防委員会協議会定例議員協議会
 - 12日 富山県東部消防組合議会 2月定例会（魚津市）
 - 17日 議会運営委員会

- 19日 総務文教消防委員会協議会 全員協議会
- 19日 滑川中新川地区広域情報事務組合2月定例会

- 20日 富山地区広域圏事務組合 2月定例会（立山町）
- 24日 議会運営委員会

- 27日 第1回臨時会
- 27日 定例議員協議会

- 3月 3月定例会

- 4月 19日 議会報編集委員会

- 10日 議会運営委員会協議会 定例議員協議会

- 16日 議会報編集委員会
- 16日 豊頃町議会交流訪問

- 24日 第101回北信越市議会議長会 定期総会（長野県）

- 24日 産業厚生建設委員会協議会

代表質問

3月定例会では14名の議員が質問を行い、54項目について市当局の見解を求めました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、6月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。ご利用ください。）

代表質問



21 予算編成と公共施設の在り方について
 2 滑川市を俯瞰した都市計画と組織体制について
 3 公共交通の将来像と基盤整備について

（会派）志真会 青山幸生 議員



Q 本市の公共施設の在り方に関し、みのわ温泉テニス村における今後の整備方針及び活用計画を問う。

A 柿沢副市長

みのわ温泉テニス村については、令和8年度中に供用開始される見込みの東部山麓道路に面していることから、この機会を捉え、昨年5月に、テニス村整備に向け市役所内にプロジェクトチームを立ち上げ検討を進めてきた。現在検討途上の案だが、温泉資源の最大活用ということで、

Q 公民連携課を廃止するに当たり、これまでの取組の総括をどのように評価しているのか。また、組織再編に伴う今後の公民連携施策への影響や事務への引継ぎ体制はどのように考えているのか。

A 柿沢副市長

令和6年4月に新設し、この2年間の主な取組だが、空き家を活用したまちづくりとして、滑川まちづくり協議会との連携、さらには空き家バンクの運営として歴史的文化財を活用した各種民間イベントの開催支援を行った。この2年間における事業の評価としては、市役所内にこれまで

公民連携という考え方が少なかった中で、公民連携課を設置し、市役所内の多くの課の職員と共に、公民連携事業に取り組み中で、市役所全体に公民連携の考え方や必要性が一定程度浸透してきたことは評価できる。

Q 富山地方鉄道本線再構築可能性等調査事業の概要と、市として今後どのように方針に関与し、関わっていく方針なのか問う。

A 水野市長

来年度の調査は、長期的（約30年程度）、中期的（約10年程度）の両方の観点から、運行形態別の設備投資にかかる費用利用者を増やす取組、国の再構築事業の実施などを検討したいと考えている。来年度は県が中心となつて、滑川市、魚津市、黒部市の3市で調査を行うこととしている。

Q あいの風とやま鉄道の新駅について要望書が出ている。前向きに検討できるか。

A 水野市長

今の段階では前向きな検討ということまでは考えていない。

代表質問



1 水野市長2期目の市政展望について
2 観光船キラリンについて
3 教育について
(会派「会派自民」) 岩城 晶 巳 議員



Q 市長にこれからの4年間の思

いと、中期的なビジョンを問う。

A 水野市長 2期目においても対

話の姿勢を揺るがすことなく、こ

れまで進めてきた取組を着実に成

果へとつなげていく4年間とした

い。第1に市民がデジタルの恩恵

を実感できるDXの推進、第2に、

藻場の設置や小水力発電などのS

DGs 未来都市としての持続可能

なまちづくりの深化、第3に、子

育て支援の拡充など教育環境の整

備、第4に医療・福祉体制の充実

さらには防災・減災対策の強化に

加え、地域公共交通をはじめとす

る都市基盤の整備。こうした市民

生活に直結する分野を重点的によ

り一層力強く推進したい。

Q 観光船キラリンが昨年8月に

故障している。今年は万全か、ま

た予約状況はどうか。

A 柿沢副市長 故障原因を調査し

た結果、エンジンの気密性に問題

があった。必要な修繕を実施した

ため、ほたるいか海上観光は問題

なく実施できると考えている。予

約については45日前から予約可能

で、システムで順次受け付けてい

っており、最終的には全期間を通

して100%になると見込んでいる。

Q 県内の自治体は学校の統合が

進んでいる。滑川市も避けて通れ

ないと思うが。

A 上田教育長 現在、統廃合に向

けた協議等は行っていない。今後

児童・生徒数の減少が確実視され

ており、学校の統廃合の在り方に

ついて考える時期が来ると思われ

る。その際には保護者や地域住民

児童・生徒の意見を聞きながら、

慎重に進めていくことになる。

Q 全国学力・学習状況調査で本

市の児童・生徒が富山県内では上

位でないのは常態的なのか。

A 上田教育長 年度によって上回

る教科もあれば下回る教科もある

市では子どもたちのつまずきにつ

いて分析しており、読み解く力に

課題があると考えている。文章や

図表、グラフ等から必要な情報を

正確に読み解き、その意図や背景

理由を理解、解釈、推論して解決

したり表現したりする力のこと

これまで、この読み解く力を研修

のテーマとして取り組んできた。

引き続き、児童・生徒の確かな学

力の上につなげたい。

一般質問



1 空き家・空き地所有者の名義変更について
2 火災被害者への支援
3 道の駅フードコートについて
4 シルバー人材センター活用について
5 婚活事業について
藤田 紀子 議員



Q 空き家・空き地の相続後、名

義変更せず放置している者への対

応は。

A 北島建設部長 令和6年4月か

ら、相続人は不動産を相続したこ

とを知った日から3年以内に相続

登記することが義務づけられた。

未登記で放置している空き家所有

者には手続きの方法等を明確に伝

え、広報活動の強化に努めたい。

Q 不動産業者を紹介し、空き

家・空き地の放置を防止する対策

を取っているのか。

A 北島建設部長 なめりかわ街づ

くり協議会と連携し、売買や賃貸

などに結びつけることとしている。

また、シルバー人材センターと協

定を締結したところであり、実効

性のある対策を講じていきたい。

Q 火災被害者への市としての支

援はどうなっているのか。

A 石川健康福祉部長 被害の程度

に応じて災害見舞金の支給や市営

住宅への入居、生活福祉資金の貸

付制度を案内している。火災被災

者が高齢者の場合、地域包括支援

センターと連携しながら相談支援

や福祉サービスの利用につなげて

Q 道の駅をさらに拡大、拡張し

て店舗が複数あるフードコートを

設置する考えはあるか。

A 長崎産業民生部長 ほたるい

かミュージアム売店フロアでほたる

いかバーガーや、朝どれホタルイ

カのしゃぶしゃぶ、刺身等の販売

も行っている。店舗の拡大につい

ては旧タラソピア跡地の利用も含

め今後検討していきたい。

Q シルバー人材センターの作業

単価の引き上げは可能か。

A 石川健康福祉部長 シルバー人

材センターの作業単価は富山県の

最低賃金を基本に独自で決定して

おり、最低賃金の動向等により引

き上げられる。

Q 婚活事業について滑川市では

年に何回開催し成婚率はどのよう

になっているか。

A 石川総務部長 本市では平成27

年度から婚活イベントを実施して

おり6組が成婚した。令和6年度

からは近隣自治体と連携し、年に

1回ずつ時期をずらして開催して

いる。これまで140名が参加し、37

組が連絡を取り合っていること

とだが、成婚率は把握していない。

一般質問



4 3 2 1

事業の見直しについて
DXの推進について
除雪について
市役所の窓口の受付時間について

高川正樹 議員



Q 令和8年度予算編成において事業の見直しによるスクラップ・アンド・ビルドの実施による財源の確保に努めたとのことであるが、いくつかの事業を統合、廃止し、どのくらいの影響があったのか。

A 柿沢副市長 見直しの対象事業数は731事業で、そのうち44事業を廃止とし、その事業費合計は約4千700万円になった。統合事業は49事業であったが、人件費や物価高騰の影響があり、200万円の増となった。

Q DXサンドボックス事業において令和7年度に実施した事業はどのようなものがあるか。

A 石川総務部長 令和7年度は3件の実証実験を実施した。1件目は市教育委員会と学校との情報共有ツールとしてLogOチャットを導入。2件目は市有地の草刈り業務の効率化と環境美化を目的として、事前に設定したエリアの草刈りを自動的に行うロボット芝刈機の導入。3件目が除雪状況の可視化による問合せ対応の迅速化や除雪事業者における日報等作成事務の大幅な効率化を目指して、除雪車にGPSトラッカーを設置す

るGPS除雪管理システムの実証を行っている。

Q 優先して除雪される市道の選定基準はあるか。

A 北島建設部長 主要幹線道路を主体として、隣接市町との連絡、物資の輸送及び市民生活の安定を図る上で重要な路線を優先して除雪することとしている。交通量のほか、バス路線、通学路、公共施設へのアクセスなど、路線の性格を総合的に勘案して選定している。

Q 試験的になど、市役所の窓口の受付時間を短縮している自治体はあるか。滑川市でも検討したことはあるか。

A 石川総務部長 本年1月から南砺市が試行として窓口受付時間を午前9時から午後4時とした。昨今の社会環境の変化や職員の働き方改革に対応する上で、窓口の受付時間については検討を要する課題と認識しており、情報収集のほか、メリット及びデメリットの洗い出しを行った。現時点では、短縮に向けた具体的な予定は設けていないが、近隣自治体の事例も参考に、導入する場合の課題や必要な対策等について整理したい。

一般質問



2 1

上下水道の「ウォーターPPP」導入可能性調査について
加齢性難聴者補聴器購入費給付事業について

古沢利之 議員



Q 新年度予算の中にウォーターPPP導入可能性調査がある。何を目的とする調査か。

A 北島建設部長 民間の人材や技術を導入し、効率的な上下水道施設の維持管理と更新を図る官民連携の手法である。保守点検にとどまらず、更新計画の作成まで委託する、レベル3.5の管理・更新一体マネジメント方式と、運営権まで民間に設定するレベル4.0のコンセッション方式の2つの方式があり、本市はレベル3.5の実施を検討している。

Q 国はレベル4.0のコンセッション方式に進むことを求めているようだ。契約期間は20年に及ぶと聞くが、これまで培ってきた技術力ノウハウは継承できるのか。

A 北島建設部長 市でも技術職員の確保は難しくなっている。民間の力を借りて継承することも含めて調査を実施したい。

Q 国は下水道管の改築に当たってウォーターPPPの導入が決定済みであることを交付金の交付要件にしているようだが事実か。交付されない場合の影響額は。

A 北島建設部長 令和9年度から、

導入を決定しない場合、補助金の交付対象にならないと国から言われている。影響額は本市の場合、年間6億円と想定している。

Q お金を使った自治体への脅しではないか。

A 水野市長 国はこの可能性調査を進めており、全て国費で調査できるのが来年度までであるため調査は実施したい。脅しとも取れるという話だが、そのような話になれば全国市長会から問題意識も出てくると思うので注視したい。

Q 補聴器購入助成制度について、所得要件を撤廃するが、助成額に違いができた。課税世帯では1万円。これで補聴器費用へ背中を押すことになると思うか。

A 水野市長 助成額の違いは負担能力に応じた制度設計をしたものだ。補聴器購入の一助になるものと考えている。

Q 所得要件のある黒部市でも課税世帯への助成は25万円ある。他市町に比べて利用しにくくなっていないか。

A 石川健康福祉部長 今後も他自治体の動向や利用状況を踏まえ、制度の在り方を検討していきたい。

一般質問



4 3 2 1

ウオーターPPPについて
重層的支援体制整備事業について
デジタル教科書について
東福寺野自然公園について

尾崎 照雄 議員



Q ウオーターPPP導入について、市民への説明会などの情報公開を検討すべきではないか。

A 北島建設部長 ウオーターPPPの導入は、上下水道の運営の在り方に改革をもたらすインパクトの大きい取組であるので、市民の皆様に見解を伺い、慎重に可否を検討する必要がある。実施の方向に固まれば、タウンミーティング等を開く必要があると考える。

Q 重層的支援体制整備事業は、今後、国からの交付金が減額された場合、どう対応していくのか。

A 石川健康福祉部長 今年度開始した重層的支援会議などの多機関協働事業に要す費用や、新たな機能の実施について、今後見直しの対象になった場合は、ほかの事業への組替えも検討していく。

Q デジタル教科書の導入に対して、児童・生徒の健康面や学習への影響などの懸念がある。教育長の見解を問う。

A 上田教育長 紙かデジタルかといった二者択一ではなく、双方のよさを十分に考慮しながら、児童・生徒の実態や教科の特性、学習目的に応じて取り入れていくこ

とが重要である。健康面の懸念など、課題もあるが、今後も学びの充実を図ることを大切にし、現場の教員の声を聞きながら、導入について検討を重ねていきたい。

Q デジタル教科書の採用となれば、教師のICT活用指導力は今のレベルアップが求められる。対応はどうしていくのか。

A 上田教育長 本市においては、各学校からICTの担当者が集まるICT活用推進部会がある。その中では、学習用端末の効果的な利用について情報交換がされており、各学校の教師間でいろいろな内容を共有している。結果として、授業で活用できる教師が現在増えている。引き続き、教師の指導力向上に取り組んでいく。

Q 東福寺野自然公園の在り方について、ワーキングチームの検討結果はいつまとめるのか。

A 水野市長 民間業者もいろいろな提案をしてきており、今まとめている最中である。私も設計図等も若干拝見した。新年度の早いうちに、遅くとも6月議会前には議会に提示したい。

一般質問



4 3 2 1

当初予算と既存事業の見直しについて
住み続けたいまちづくりについて
福祉・介護について
教育について

水橋 真治 議員



Q 当初予算の編成に当たり、既存の事業を継続するのか、廃止・統合するのかの判断基準は。

A 楠沢副市長 廃止の判断基準は、滑川市行政経営システムにおける事業評価の結果や事業が市民ニーズに対応しているか、市民にとってどうかという点を基準として考えた。判断すべきものについては利用状況や補助実績などで確認し、時代の変化や地域社会の状況に照らし、事業の必要性から判断した。統合の判断基準は、同様の目的を持つ事業が存在し、統合することで効率化が図れる場合などについて、統合することとした。

Q 滑川産業フェス(仮称)を開催することにより、このまちに住んでよかった、このまちで働きたいと本市の魅力を確認できる場となるように準備を進めているとのことだが、いつ、どこで、どのようなイベントが行われる予定か。

A 水野市長 本年10月17日土曜日、18日曜日の2日間、滑川市総合体育センター及びその周辺で開催する予定である。私が一番重視するのは、子どもたちにあらゆる職業を体験するコーナーを設け、市

内企業のものづくり、漁業、農業などいろいろな産業を体験してもらうことである。その中でさらに、カニや農産物などの本市の特産物の販売、市内飲食店によるグルメブース等の設置も計画している。また、従来別に開催していた環境フェア、福祉・介護に関するイベントも同時開催する予定である。

Q 多額の社会保障費が投入されている中、介護支援の現場ではどのような課題があるのか。

A 石川健康福祉部長 まず、介護人材の不足である。施設や設備はあるものの、運営するための人員が不足しているためサービスが提供できない事態が発生している。また、物価高騰に伴い、光熱費や食材料費など、様々な出費が増加し、施設運営に大きな負担になっている。

Q 市内各小中学校の児童・生徒のデジタル教科書の導入について見解を問う。

A 上田教育長 紙とデジタルの双方のよさを十分に考慮しながら、児童・生徒の実態や教科の特性、学習目的に応じて適切に取り入れていくことが重要と考えている。

一般質問



行財政運営について

大浦 豊 貴 議員



Q 令和5年度財政状況資料集における本市の経収支比率は84.2%と報告されている。本市の経収支比率は、約80%から87%の中で推移していると思われる。一般的に、80%を超えると弾力性が失われつつある状態、90%を超えたとかなり硬化が進んでいる状態とされている。全ての自治体が一律ではなく規模や構造により状況は異なると思われるが、本市の状況や将来的な見解、目標は。

A 石川総務部長 令和6年度の決算における本市の経常収支比率は85.5%。令和5年度に比べて上昇はしているものの、県内では最も低い状況である。県内の他の自治体も、同様に比率が上昇してきている状況である。本市の経常収支比率は、現在のところ90%を超えていないものの、今後も人件費、扶助費などの義務的経費のほか、物価高騰などの影響などにより経常的に支出される経費が膨らんでいくことが見込まれる。

Q 水野市長は2期目に向けた中期ビジョンとして、行政、防災、文化を一体化したまちづくりの中核拠点の整備を検討、市役所、防災危機管理拠点、文化ホール機能

を集約するとした。任期中の目標について見解を問う。

A 水野市長 市役所の本館は昭和38年、東別館は昭和43年に建設されており、いずれも約60年が経過している。現在、電気設備や給排水に不具合が頻発しており、施設全体の老朽化が進んでいるものと認識している。一方、市民会館大ホールについても建設から58年が経過しており、ほかの文化施設施設についても同様に築年数が経過している。今後の人口減少、厳しい財政状況、さらには維持管理費のコストの増大などを考慮すると公共施設の在り方については、集約化、複合化の視点から検討していく必要があるものと認識している。こうした状況を踏まえた上で、災害対応や有事における危機管理、市民サービスの拠点である庁舎機能に加えて、芸術文化の中心的役割を担う文化ホール機能、さらには各種文化施設機能も含めて、行政、防災、文化を一体的に備えた新たなまちづくりの中核拠点の整備について、中長期的な視点から検討したい。

一般質問



4321

地域産業の振興について
SDGs推進について
DX推進について
公共交通（よぶマイカー・のるマイカー）について

安達 真 隆 議員



Q 滑川産業フェス（仮称）は、新規重点枠のうち、笑顔いっぱい枠のその他に項目があるが、本事業の具体的な内容、どのような産業振興を狙いとするのか問う。

A 水野市長 市内ものづくり企業の紹介や職業体験、特産品販売、市内飲食店によるグルメブースの設置のほか、従来は別に開催していた環境フェア、福祉・介護に関するイベントも同時開催する予定である。

Q LED化工事費として、令和6年度から毎年多額の予算が計上されている一方で、住民に一番近い町内会の街灯が置き去りにされているように思う。町内会の負担軽減のため、市が全額補助あるいは一括リース等でLED化する考えはないか。ESCO事業という制度があるが、そういった民間の知恵を借りた事業を利用すれば負担も少なく、一気にLED化を進めることもできると思うが。

A 北島建設部長 町内会の街灯のLED化については現在の手法で推進したい。提案いただいた制度については先進事例を踏まえ調査研究したい。

Q 誰一人取り残さない情報伝達サービス事業に87万円の予算が計上されている。実証実験に18人が参加しているが市内全体の利便性や有効性は検証できているのか。8年度も実証実験を続けると思うが予算が計上されていない。実証実験は3月までだが次年度以降、本格導入する意向はあるのか。

A 石川総務部長 7年度の検証については現在精査中だが、実施に当たっては改めて予算措置について議会と協議したい。

Q よぶマイカーの利用者が浜加積地区は14人で市内で1番利用がある。コミュニティバスの乗客をデマンド交通でカバーしているのが実態ではないかと思われる。日中帯をデマンド交通に集中させるなど、少しでも早く1本化していただきたいと思うが。

A 長崎産業民生部長 他の自治体では、朝夕の通勤通学時間帯を定時定路線型のコミュニティバスを運行し、日中はデマンド交通を運行している事例もある。実証実験の結果やこうした事例を参考にしながら、本市の実情に合った運行体制の在り方を検討していきたい。

一般質問



2 1 緑地公園課を新設せよ
中野島の農村公園整備について

上田 昌孝 議員



Q 滑川市には主に、東福寺野自然公園、海浜公園、行田公園、中川放水路緑道、スポーツ・健康の森公園、いのみ公園、市営野球場、堀江運動公園、農村公園といった公園があるが管理が十分でない、手の入っていない公園もある。堀江運動公園にあつては梅園（紅梅・白梅）のゾーンをつくつたが一年で3分の1が枯れた。ツツジがきれいでも市民が集うツツジの築山をつくつたがこれも失敗した。パークゴルフの各ホールのスタート地点に梨の木を植え、5月には白い花を眺め、棚の日陰の下で休みながらコースをまわるということも試みたが梨の管理の勉強を職員にさせようとしたが人事異動となり実現しなかった。富山県の植樹祭の際には広場に苗木を植えたが4分の1から3分の1が枯れてしまった。なぜこのような雑なことをしたのかと考えてしまう。専門の管理する担当課が必要ではないか。

A 北島建設部長 市所有の公園管理は都市計画課、街路樹の管理は建設課、市有林の管理は農林課で行っている。公園内の樹木の管理

や街路樹の管理に市内の造園業者やシルバー人材センターの業務委託により定期的な剪定や害虫防除管理を行っている。

Q 中野島の農村公園に松の林があるが、枯れており、伐採されていた。早月中学校の生徒が愛する公園であり、ピオトープとしても注目される公園である。また、齊木久治さんの功績を称える記念公園であり、松の木の公園が無い中、貴重な公園である。この森の一角を崩すという構想を聞いたが、森には手をつけずに頑張ってもらいたい。誰が管理するのか。

A 北島建設部長 現在、この公園については都市計画課で管理している。

- その他の質問
- ・2050年に農家が8割減少する
 - ・介護人材不足が問題になっている
 - ・人口減を止めよう



一般質問



3 2 1 SDGs推進事業について
安心安全なまちづくりの推進と取組について
高齢者支援について

谷崎 潤一 議員



Q 小水力発電の可能性について調査を依頼した法人との実現に向けた可能性の話し合いは進んでいるのか。

A 石川総務部長 進捗や検討状況について、適宜情報を共有しており、調査完了後に改めて結果の説明を受け、次年度の方針についても意見交換をした。本市の地域資源を生かしたゼロカーボンシティの実現に寄与する取組であることから、国等の支援制度や事業性を高める方法などを双方で研究しながら引き続き協議し、本市ができる支援を考えていきたい。

Q 在宅避難や車中泊避難などのリーフレットを今後作成するのか問う。

A 石川総務部長 在宅避難や車中泊避難等をまとめたリーフレットについては作成していないが、防災知識の普及と向上を図ることを目的とし、「滑川市防災パンフレット」を作成している。在宅避難の判断基準、必要な備蓄品、自宅の耐震化等、事前に備えておくべき事項など、災害時において避難所に行く以外に在宅避難という選択肢があることについて掲載しており、

町内会等で実施した防災講座等でもパンフレットを活用し、在宅避難について周知を行っている。

Q 動画配信サイトにメリカの備蓄庫や避難場所の紹介、段ボールベッドなどを使用し避難時を想定した検証動画が掲載されているが、掲載や備蓄品の使用の届出はあったのか。

A 石川総務部長 動画撮影の実施及び撮影に係る施設の利用、備蓄資機材の利用に当たっては、防災危機管理課へ事前の確認があり、利用目的を確認した上で撮影及び利用を許可している。動画についても動画配信サイトへの掲載前に担当課で構成や内容を確認した上で掲載している。

Q 滑川市総合体育館利用料について、利用場所限定で70歳以上を無償にできないのか問う。

A 高倉教育委員会事務局 近隣自治体の施設において、ランニング走路の無料化や高齢者割引を行っている事例は確認できていることから、既に運用済みの近隣自治体の事例を参考として、指定管理者の市スポーツ協会と前向きに協議を進めていきたい。

一般質問



1 子ども（児童・生徒）たちの学校生活について
2 幼児教育の在り方について
3 防災について

吉森 真人 議員



Q 中学校にてLGBTQ等への配慮及び機能性の向上のため、性別を問わない違和感のないブレザー型の制服の導入の検討を求める。

A 高倉教育委員会事務局長 制服は、各学校が長年築いてきた校風や伝統、また生徒自身のアイデンティティと深く関わる。制服の変更については生徒、保護者、教職員が、各学校の実情に応じて主体的に判断するものである。現時点で具体的な変更の動きは見られないが、現場から相談があった場合には、適切な助言に努めたい。

Q 本市も物価高騰対策の枠を超えた小学校だけでなく中学校まで給食費を完全無償化すべきではないか。

A 高倉教育委員会事務局長 中学校の学校給食費の無償化についても小学校の給食無償化に続き、国庫負担により実施されるよう、重点事業要望等を通じて国等へ働きかけるとともに、国や県内市町村の動向を今後も注視したい。

Q 市立保育所のみならず、市内の私立園、認定こども園等との共存及び将来的な構想を問う。

A 高倉教育委員会事務局長 市全体

の就学前教育・保育の質の向上を目指すことが重要で、手厚い人員配置、環境整備及び保育士の資質向上を図り、多様化する特別保育等のニーズにも対応した質の高い教育・保育環境を目指していく。

Q 市長提案理由で述べられたスフィア基準早期達成の期限を問う。

A 石川総務部長 限られた財源や保管場所等の課題があり、現時点ではいつまでという形を設けてはいないが、各指標の優先順位等も勘案しつつ、国の交付金等の活用民間企業等とのさらなる災害時応援協定の締結も進め早期達成に向けて取り組んでいきたい。

Q スフィア基準は、トイレの数や床面積だけでなく、被災者の尊厳を守るという人道憲章がある。だからこそ達成は難しい。スフィア基準をどのように捉えているのか。

A 石川総務部長 数に達していれば良いわけではないという認識は持っている。ただ、ある程度数字が出ているので、数的なものを整備しつつ、どういうことが想定されるか、また、どういう対応ができるかも含めて、今後も意識を持って努めていこうと考えている。

一般質問



1 町内会運営アプリ「結ネット」の活用状況等について
2 農業の振興について

原 明 議員



Q 町内会運営アプリ「結ネット」を導入している町内の数を問う。

A 石川総務部長 令和8年2月末現在で、49の町内会と5町内会が同時にという形で1地区、全てで54の町内会が導入、申込みされている。

Q 町内会へのPR等を兼ねて、結ネットの導入を進めていただきたい。どれくらいの目標を立てていくのか。

A 石川総務部長 3年間を顧みると、一応目標は達成している状況であるが、市長の2期目の公約でDXという部分がある。改めて次の段階に進めていかなければならないという認識を持っており、加入促進を図っていきたい。

Q 結ネット導入促進事業補助金の受付期間が今年の2月末で終了した。今後も支援を続けるべきと思うが見解を問う。

A 石川総務部長 補助金は、短期間で導入を促進し、町内会が円滑な情報伝達や役員の負担軽減といった導入効果を早期に実感できる環境を整えたい目的で設定した。しかしながら町内会の規模、年齢構成、デジタルへの対応力など導入が困難な町内会もあったため、

効果的な支援方法を検討したい。

Q 農業を担う70代の農業従事者は、今後10年元気に働いたとしても間違いなく引退される。農地、農産物の生産を維持していく担い手の育成など滑川の農業にどのように取り組んでいくのか。

A 長崎産業民生部長 農業従事者の高齢化や担い手不足は、当市のみならず、全国的な課題となっている。農地は食料の供給機能だけでなく、国土の保全や水源の涵養といった多面的な機能も有することから、その維持は大変重要と認識している。国や県の担い手の育成支援を有効に活用するとともに、市独自の支援策を展開し、県やJAアルプス等関係機関と連携のうえ担い手の確保に努める。

Q 農業継承応援支援金が計上されているがどのような支援なのか。

A 長崎産業民生部長 市独自の支援制度であり、親元や第三者継承等を支援することで、営農を継続し、地域農業の担い手となる新規農業者を確保するもので、60歳未満で一定規模以上の新規就農者に1経営体50万円の支援金を交付し、経営を継続、発展させる取組である。

一般質問



4 3 2 1

道の駅ウエーブパークなめりかわ、タラソピア跡地について
放課後児童クラブに使用されている施設の空調設備について
AEDの設置について
なめりかわ未来学校について

高橋 悟 議員



Q 道の駅ウエーブパークなめりかわ、タラソピア跡地に地場産野菜等を扱う直売所を建設してはどうか。

A 長崎産業民生部長 野菜の十分な供給量の確保が難しい状況と、開催の頻度も制限される中、新たな直売施設の建設は現段階では難しいのではないかと考えている。今後は、イベント的に地場産野菜の直売を実施するなどの取り組みを行い、それらの結果を踏まえ、直売場の設置について考えていきたい。

Q 放課後児童クラブに使われている11施設の空調設備は十分に整備されているのか。

A 高倉教育委員会事務局長 各クラブから問い合わせがあった際に現地を確認しており、空調設備を含む施設の設備に不具合があった場合には、速やかに修理を実施している。引き続き快適な環境が確保されるよう、各クラブと連携していきたい。

Q 中加積地区公民館の2階図書室へクーラーを設置できないか。

A 高倉教育委員会事務局長 図書室については、階段部分との区切り

のない開放的な構造となっているため、整備を見送っている経緯がある。今後、施設の利用状況や子どもたちの活動環境を注視し、必要に応じて適切な対策を検討していきたい。

Q 各学校や公共施設等にAEDが設置されているが、緊急の場合、取りに行くのに時間がかかるほか、休館等で施錠されていることが考えられる。各町内の公民館にAEDを設置できないか。

A 石川総務部長 市としても、緊急を要する場合は想定した救急救命の対策が重要と認識しているが、AEDの設置には、導入経費、維持経費など多額の経費がかかるため、各町内の公民館への設置は予定していない。

Q なめりかわ未来学校の海外体験をできるだけ多くの子どもたちに体験させるための考えはあるか。

A 柿沢副市長 今回、スリランカの受け入れ機関の方から、人数をもう少し増やしても大丈夫とのことであったため、現地とも相談しながら人数のほうを検討していきたい。

請願・要望書

件名及び提出者	処理結果
①請願（1件）	
・日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択の請願 富山県被爆者協議会 会長 小島 貴雄 原水爆禁止富山県協議会 代表委員 中山 洋一	不採択
②要望書（4件）	
1 国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情書 社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」 代表 加藤 克助	全議員へ参考配付
2 要望書 一般社団法人日本環境保全協会 会長 山条 忠文 富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳	全議員へ参考配付
3 要望書 富山県環境保全協同組合 理事長 廣瀬 淳、株式会社公生社 代表取締役 廣瀬 淳	全議員へ参考配付
4 mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書 宇井 淳	全議員へ参考配付

議案の審議結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第1号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて 専決第1号 令和7年度滑川市一般会計補正予算(第5号) 専決第2号 令和7年度滑川市一般会計補正予算(第6号) 専決第3号 損害賠償請求に係る和解に関する件 専決第4号 令和7年度滑川市一般会計補正予算(第7号) (第1回臨時会)	総産	原案承認
議案第2号	令和8年度滑川市一般会計予算	予	原案可決
議案第3号	令和8年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算	予	原案可決
議案第4号	令和8年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計予算	予	原案可決
議案第5号	令和8年度滑川市介護保険事業特別会計予算	予	原案可決
議案第6号	令和8年度滑川市工業団地造成事業特別会計予算	予	原案可決
議案第7号	令和8年度滑川市水道事業会計予算	予	原案可決
議案第8号	令和8年度滑川市下水道事業会計予算	予	原案可決
議案第9号	令和7年度滑川市一般会計補正予算(第8号)	総産	原案可決
議案第10号	令和7年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第11号	滑川市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	総	原案可決
議案第12号	滑川市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第13号	滑川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第14号	滑川市の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第15号	滑川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第16号	滑川市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第17号	滑川市下水道条例等の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第18号	滑川市体育施設条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第19号	副市長の選任について	-	原案同意
議案第20号	人権擁護委員候補者の推薦について	-	異議なしと意見
請願第1号	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択の請願	総	不採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、予：予算特別委員会

賛否一覧表

議案	会派 真 会				会派 自 民				無 会 派 等						
	議員名 吉森真人	安達真隆	青山幸生	竹原正人	藤田紀子	高川正樹	原 明	岩城晶巳	高橋 悟	谷崎潤一	水橋真治	大浦豊貴	尾崎照雄	上田昌孝	古沢利之
議案第1号(第1回臨時会)	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号から議案第19号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第20号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○
人権擁護委員候補者の推薦について															
請願第1号	●	●	●	/	●	●	●	●	●	●	欠	○	●	●	○
日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択の請願															

※賛成者は○、賛成でない者は●、欠席者は欠としています。議長は採決に加わらないため「/」としています。



＜意見交換会の様子＞

意見交換会では滑川地区保護司会の早川祐一会長と竹原正人議長がそれぞれ挨拶を行った後、参加者紹介を行いました。次に、青山幸生保護司から「保護司と対象者との面接について」保護司活動の現状を聞いた後、富山保護観察所の山本保護観察官から管内の保護観察状況について説明がありました。最後に意見交換を行い、保護司活動への理解を深めました。

令和8年2月10日(火)、滑川市役所本館3階大会議室で、滑川地区保護司会、滑川地区更生保護協力雇用主会、滑川地区更生保護女性会と市議会議員との意見交換会を開催しました。

保護司3団体との
意見交換会を開催しました

6月定例会が下記の予定で開催されます

日	時間	摘要
6月8日(月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
15日(月)	10時	代表、一般質問
16日(火)	10時	一般質問
17日(水)	10時	総務文教消防委員会
18日(木)	10時	産業厚生建設委員会
22日(月)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送していますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 47512120

【議会報編集委員】

- 吉森 真人 委員長
- 高橋 悟 委員
- 高川 正樹 委員
- 古沢 利之 委員
- 谷崎 潤一 副委員長
- 藤田 紀子 委員
- 尾崎 照雄 委員

滑川市議会情報セキュリティ基本方針を策定しました

地方自治法の一部を改正する法律（令和6年法律第65号）により、地方公共団体の議会においても、サイバーセキュリティを確保するための方針を策定することが義務付けられました。

これを踏まえ、令和8年3月19日にサイバーセキュリティを確保するための方針として、滑川市議会情報セキュリティ基本方針を策定しました。内容については右のQRコードよりご覧いただけます。



令和7年度の傍聴者数について

本市議会では、開かれた議会づくりをすすめており、本会議や委員会などの様子を傍聴していただくことができます。令和7年度の傍聴者の実績と、傍聴された方からアンケートでいただいたご意見をいくつかご紹介します。

	令和7年6月	令和7年9月	令和7年12月	令和8年3月
本会議	43人	20人	16人	10人
委員会	1人	2人	2人	6人

いただいたご意見・ご感想（原文のまま掲載しています）

- 前日傍聴した内容が、新聞記事に掲載されていた。普段なら何げなく目を通している記事だが、傍聴していたため、自分で理解できなかった部分を補強することができた。市政により興味がわき、これからも、知って学び続けたいと思った。
- 本会議前にエールで「市議会定例会質問事項」を手にすることができたため、事前に質問内容を把握することができました。そのため、傍聴のスケジュールをくむことができてよかったです。
- 代表質問の問いの順番通り回答した方が傍聴側としては聞きやすい。一般質問同様の方法ではダメなのか。時間の効率も分かるが、テレビでみている人も分かりにくいと思う。
- 今回の無投票当選は残念でした。若いサラリーマンも立候補できる工夫も大切。やがては北欧の様に夕方議会も検討必要かも（半ばボランティア議員）。

